

2024年度 本部事業の活動報告

副理事長：長坂善人

1. 新春勉強会2024 2024年1月23日24日
会員企業表彰：6SS部門、サンクスカード部門、広報部門、特別部門
臥龍先生新春講話、文明法則史学・服部様、株式会社Unpacked・小嶋社長、株式会社スポーツネーション・三木社長
2. スペシャルベンチマークin岡山 2024年5月23日24日25日
23日24日対象：全会員
25日対象：感動経営コンサルタント
訪問先：株式会社ベストホーム、株式会社フジワラテクノアート、総社市・市長講演
3. 2024年人が輝く経営実践報告会 2024年12月8日
テーマ「嵐の海を乗り越えた船長とクルーたち」
臥龍先生講話、アサヒドリームクリエイティブ株式会社・橋本社長、
つばさホールディングス株式会社・猪俣社長、株式会社王宮・橋本明元専務
4. 感動物語コンテストと台湾APRAとの交流会の報告は、
主担当委員会の報告に替えます。

2024年度「感動物語コンテスト」実行委員会報告 Wolong

報告者: 2024年度委員長 郡司 公生

■ 第17回感動物語コンテストグランプリ大会

日時: 2024年12月7日(土) 13:00~ 予定通り開催

動員目標: 400名 → 実動員数109名(チケット)

+ U-18世代・関係者 約150名

■ 各賞受賞企業

西日本代表: グッドフェローズ様 3冠

- ・みらい世代共感賞(U-18世代による投票)
- ・応援共感賞(実践会会員の来場者による投票)
- ・グランプリ(審査員10名による審議)

■ 今回の特徴

- ・産経新聞社様後援(産経新聞ネットニュース・新聞記事掲載)
- ・Unpackd様とコラボによるU-18世代動員、当日感コン新聞発行
- ・エントリーの敷居を下げるため、常連や一部の業界が寡占しないよう従来の地区別の他に、テーマ別・常連枠を新たに設けた

2024年度「感動物語コンテスト」実行委員会報告

報告者：2024年度委員長 郡司 公生

- ・産経新聞社後援 (ネットニュース&リアル紙面)
- ・アンパックド様とのコラボによる U-18世代動員、感コン新聞発行



感動物語コンテスト・グランプリ

実際にあった職場の感動エピソードを動画でPRする「感動物語コンテスト」(一般社団法人「人が輝く経営実践会」主催、産経新聞社後援)のグランプリ大会が大阪市中央区のドーンセンターで開催された。兵庫県明石市の福祉サービス業「グッドフェローズ」の作品「キャストとメンバーさ

心一つに採用つかむ

兵庫の「グッドフェローズ」



感動物語コンテストのグランプリ大会に出場した企業の関係者ら＝大阪市中央区

ん心を一つにしてつかみ取った「採用」物語」がグランプリに選ばれた。コンテストは「人を大切にする会社」が日本を元気にする」をスローガンに平成20年に始まり、17回目。

郡司公生・実行委員長は「人材の成長が企業の成長につながる。動画を作るこ

とで、仕事中にスルーされがちな小さな感動に気づき、社員の育成にもなる」と狙いを説明する。

グランプリ大会には、地区大会などを勝ち進んだ7社が参加。住宅リフォームの営業マンが客と信頼関係を築いていくエピソードや会社の危機を社員全員で乗り越えた話が披露され、涙を流す観客もいた。

グッドフェローズは、入社4年目の藤原一揮さん(26)が、知的障害のある利用者への「一般就労」を目指し、「見事、採用」を勝ち取ったエピソードを紹介。3時間かけて履歴書を書く、不採用が続くといった困難もあったが、約1年かけて目標を実現、女性が藤原さんに宛てた手紙も映し出さ

感動物語コンテスト・グランプリ



2024年度「感動物語コンテスト」実行委員会報告

報告者：2024年度委員長 郡司 公生

■次回への改善検討事項

1. 動員数を増やす

- ① 実践会会員増強による動員
- ② 関西地区での実行委員長・副委員長を中心に、地元のネットワークを活かし動員に結びつける
- ③ 投票権 実践会会員のみ→スポンサー企業や来場者にも？

2. エントリー企業を増やす

- ① 実践会会員増強によるエントリー増
- ② 地区会を通して出品の誘致

3. 応援メッセージが2件、前年が50件と極端に少なかった 来場アンケートも5件のみ

- ➡ 会場のネット環境の影響を危惧し、投票を紙とし、応援メッセージはオンラインと分けたことが要因
- ➡ オンライン投票と応援メッセージとアンケートをセットで実施

4. グランプリと他の賞が被った時もOKと事前に明示

2024年度「アワード委員会」の活動報告

報告者：委員長 長坂恭輔

1. 目的：目指すべき理想の姿とその道程を明確にし、世の中に人が輝く経営実践企業が広がる啓蒙的アワードを創設。
2. 実施内容：人が輝く経営経営指標検討会（4月～10月毎月）
ヒトピカ・ウェルネスサーベイ運営
3. 活動成果：人が輝く経営指標重要評価項目策定
一次審査アンケート作成、テスト検証（全78問）
正式名称決定「人が輝くエンパワメント大賞」（商標取得済）
ヒトピカ・ウェルネスサーベイ通年運用
年間実施企業数12社 / 総回答件数567件
2024年度HWS会員企業平均点76.6点
（内訳：参加企業6社・回答件数：359件）

2024年度「相互ベンチマーク委員会」の活動報告

委員長：小笠原拓哉

1. 目的: 新入会員の拡大・メンバー各社の相互研鑽
2. 実施内容: 全国ベンチマークとして株式会社アペックスの見学開催
各社のベンチマーク案内作成と広報
3. 活動成果: 8回開催 入会者目標4社は未達

2024年開催日	企業	参加人数	うち外部人数	点数
6月18日	伊部株式会社	19	0	97.1
6月21日	有限会社コーリヤマ	11	2	88
8月22日	共立運送株式会社	5	1	96.2
9月10日	株式会社アペックス	24	4	96
9月19日	グッドフェローズ株式会社	11	7	96.5
10月4日	有限会社ハナワークス	3	0	80
11月13日	株式会社森鉄工所	18	7	92.3
11月19日	株式会社そだてる	17	1	91.5

2024年度「採用育成委員会」の活動報告

委員長：小畑 秀之

1. 目的：
 - ・リーダー素材の採用・早期育成の成功モデルづくり
 - ・会員企業と認定コンサルタントの実践レベル向上
2. 実施内容：
 - 1) オンライン次世代リーダー研修会の実施
 - 2) 採用育成情報交換会への参加
3. 活動成果：
 - 1) オンライン次世代リーダー研修 4～3月：3月にプレゼン
 - ・概要：12回シリーズ：3回×4テーマ（1回2時間）
 - ・テーマ：①タイムマネジメント ②コーチング
 - ③ロジカルシンキング ④プレゼンテーション
 - ・受講者：4社17名
 - ・各テーマ終了後にアンケートを実施し、次回に活かす
 - 2) 理念型採用育成情報交換会への参加
 - ・年間4回開催（5月、8月、11月、2月）

2024年度「感動経営コンサルタント委員会」の活動報告

副理事長： 佐々木千博

1. 目的: 臥龍先生の志を継ぐ感動経営コンサルタントの質・量の充実
100社に影響を与える「人本主義作品企業」の誕生支援

2. 実施内容

- ・感動経営コンサルタントの認定
- ・感動経営コンサルタントのあり方・スキル・受注力向上支援

3. 活動成果

- ① 1月 感動経営コンサルタント新春研修会
- ② 4月 第一期コンサル自燃塾 の開催、新たに8名を認定
- ③ 6月 感動経営コンサル半期研修会
- ④ 9月 第一期コンサル自燃塾フォローアップ研修会IN長坂養蜂場
- ⑤ 感動経営コンサルタントによる「人が輝く会社づくり勉強会」開催全4回
題材:長坂養蜂場、12月～ベストホーム * 題材企業も気づきは大きい
社員の成長が実感できる～参加企業の拡大呼びかけ要

2024年度「海外連携委員会」の活動報告

報告者: 委員長 三浦忠

1. 目的:

- ①次世代交流を見越した日台の絆の結び直し、単なる視察ではない具体的なアライアンスを生む海外交流の推進。
- ②「個対個の絆」から生まれることの伝統を繋いでいく日台「義兄弟」創りの推進

2. 実施内容: 第27回APRA国際交流in日本(関東)

(2024年11月24日～11月28日)台湾32名、日本27名 置き換え研修好評

3. 活動成果: 今回の国際交流を機に日台「義兄弟」絆創りのスタート

・台湾APRAでどなたか親友創りの台湾側窓口をお願いしたい。

日本: 三浦忠 台湾: レイニー(曾)

①林晏徹(兄弟) & 橋本祐樹

②王晶瑩 & 五味渕紀子 *「個」対「個」のお付き合い

③林昌賢 & 中島一薫